



いのちのたび

〒805-0071
北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
Tel 681-1011 Fax 661-7503
HP <https://www.kmnh.jp/>
発行:いのちのたび博物館ミュージアムティーチャー

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、博物館では、企画展「調べる・くらべる くらしと道具のうつりかわり」を開催中です。

懐かしい給食サンプルも展示しています。多くの皆様のご来館をお待ちしています。

オンラインでも紹介できます。お問い合わせください。



希少海鳥「ヒメクロウミツバメ」の渡り経路を解明

当館自然史課・鳥類担当の中原学芸員を中心とした研究グループは、世界遺産『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群の構成資産の一つである小屋島で繁殖する「ヒメクロウミツバメ」の渡り経路を世界で初めて明らかにしました。その移動距離はなんと片道13,000km以上！調査方法や渡り経路などを、博物館エントランスで1月31日(土)まで特別展示しています。是非、ご覧ください。



先生、ちょっと聞いて！



「ワークシート」を活用しよう！

博物館での過ごし方で、探検ガイドブック(スタンプシート)を持って、押して回る光景をよく見かけます。これはこれで充分に楽しんでもらえるとは思いますが、せっかくの博物館での学習。もう一步踏み込んでみませんか？そこで活躍するのが「ワークシート」です。当館ホームページから、「学ぶ・楽しむ」のバナーをクリックすると「ワークシート」がみつかります。さらにクリックすると、たくさんのワークシートがあります。学年、分野を分けて用意しています。もちろん、先生方で組み合わせてオリジナルにしても大丈夫👍。

是非、ご活用ください。

出前授業「土地のつくりと変化」

いのちのたび博物館では、小学校6年生の理科「土地のつくりと変化」の学習支援を実施しています。(詳細は3月に案内を学校代表メールに送信しますのでご確認ください。)

- 申込期間：令和8年4月6日(月)～4月13日(月)必着
- 決定方法：抽選 ※先着ではありません。
- 申込方法：3月に送信する専用申込書に必要事項を記入の上、博物館へFAX(661-7503)へ返信してください。



ミュージアムのタネ



あがのやき 上野焼

あがのやき 福岡県田川郡福智町周辺で焼かれている400年以上の伝統をもつ焼き物です。慶長7年(1602)、細川忠興が豊前・小倉城主になって間もなく、朝鮮出身の尊楷を招いて焼かせたことにはじまるといいます。

日本を統一した豊臣秀吉は、中国(明)を征服しようと考へ、朝鮮に2度も大軍を送りました。この戦争に参加した武将たちにより、多くの朝鮮の陶工(焼き物をつくるひと)が日本に連れて来られました。上野焼の祖である尊楷も、このとき朝鮮から来た陶工の一人でした。

細川氏は福智町上野、また小倉城下に窯を作らせました。小倉城下の菜園場窯(北九州市小倉北区)は藩主細川氏が趣味で焼き物を作らせるための窯だったと伝えられており、その跡は福岡県有形文化財に指定されています。細川忠興が千利休に学んだ茶人として有名であったこともあり、茶の湯に使う器(茶陶)を中心に作っていたようです。この窯は細川氏が小倉から熊本にうつった寛永9年(1632)以降に使われなくなったと考えられています。一方で福智町の窯では江戸時代を通して茶陶や普段使いの器などが作られました。

このような歴史と伝統をもつ上野焼は、明治時代に一時存続の危機がありましたが、昭和58年(1983)に国の伝統的工芸品に指定され、現在もおおよそ20あまりの窯元が、伝統を受け継ぎ、創意工夫を凝らした作品を作り続けています。

いのちのたび博物館の常設展には江戸時代に作られた上野焼が展示してあります。当館にお越しの際には是非ご覧ください。



常設展に展示している上野焼

歴史課学芸員 福岡 優子